

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成29年04月15日

事務事業名	子ども議会運営事業			担当	教育委員会 生涯学習課 女性青少年係								
政策名	F	市民の知恵と夢で拓くみんなのまちづくり			電話番号	0285-82-7151							
施策名	3	開かれた市政の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業								
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ								
法令根拠					<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成14年度~)								
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4.社会教育費	1.社会教育総務費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( 年度~ 年度)								
事業概要	小中学生を議員に任命し、市政への興味と関心を深め、子どもの目から見た市政への夢のある提言を求め、市議会の仕組みを理解してもらう目的で開催している。 小中学校児童生徒が隔年で対象となり(平成28年度は小学生対象)、毎年8月に開催する。 小学校児童:6年生対象 中学校生徒:全学年対象 子ども議員数:21名(内議長3名、質問議員18名) 質問時間3分以内/人。 子ども議会開催後、「子ども議会感想文集」を学校に配布している。												

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 28年度実績 打ち合わせ会2回、答弁書打ち合わせ1回。 小学生を対象に開催 議員21人(議長3人・質問数18)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
29年度計画 市内中学生を対象に開催予定	ア 会議開催数	回	3	3	3	3	3
	イ 質問数	件	22	22	17	18	18
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市内の小中学生	ウ						
	エ						
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 小中学生に議会の仕組みを理解してもらい、市政への関心を深めてもらう。	オ						
	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 小中学生に議会のしくみを理解してもらい、市政への関心が深まる。	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア 中学生徒数	人	2,330		2,308		2,339
⑤意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 小中学生に議会の仕組みを理解してもらい、市政への関心を深めてもらう。	イ 小学6年生数	人		795		783	
	ウ						
⑥結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 小中学生に議会のしくみを理解してもらい、市政への関心が深まる。	エ						
	オ						
⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移							
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア 市政に関心を持った児童生徒の割合	%	100	100	100	100	100
(2) 総事業費の推移	イ						
	ウ						
事業費	エ						
	オ						
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?		小中学生を議員に任命し、市政への興味と関心を深め、子どもの目から見た市政への夢のある提言を求め、市議会の仕組みを理解してもらうことを目的として平成14年度より開催された。					
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?		市議会定数に合わせ、子ども議員数も28名から22名に変更したが、合併に伴い議員数を28名に変更した。 平成27年度から、市議会定数に合わせ、28名から21名に変更した。					
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?		議員になった子どもたち、保護者、教員からとても良い経験になったという感想が寄せられている。 議会出席関係者、ケーブルテレビを視聴した方々からも良い評価が寄せられている。					

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市政に子どもの視点を反映することは、開かれた市政の推進に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市内の児童生徒が、市政に興味を持ち関心を深めることは、教育の一環である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市内全校を対象としている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 実施の結果、市民、保護者、学校等から好評を得ている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 子どもたちが市政に関心を持てる機会が少なくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業開催のための必要最低限の経費である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできぬか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 学校との連絡調整が主であり、必要最低限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市内すべての小中学校が対象なので、公平である。

## 3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し ( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合  <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果  <table border="1"> <tr> <td>①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> <td>②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> <td>④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性  <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充</td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充	<input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善	<input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大	<input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充	<input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善																							
<input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大	<input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																							
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								